

株主の皆様からのご質問・ご要望にお答えします — アンケート結果のご報告 —

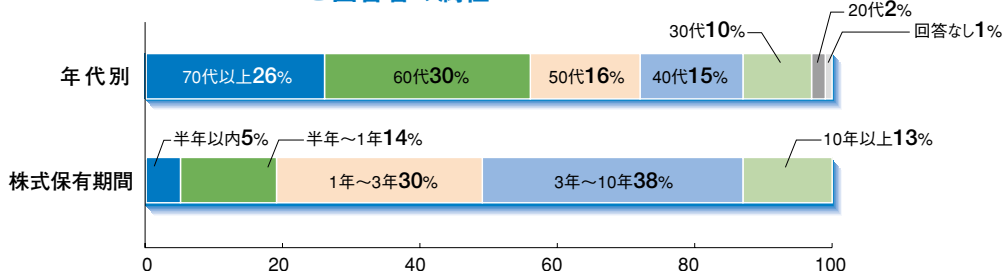
第39期中間報告書アンケートでは、「経営のアドバイス」「株価に対する厳しいご意見」「当社に対する温かい励まし」など、株主の皆様から多くの貴重なご意見・ご感想を頂戴いたしました。ご協力いただきました皆様に厚く御礼申し上げます。株主の皆様には、株価低迷により多大なご心配とご

迷惑をおかけしておりますことを真摯に受け止め、皆様のご期待、激励に少しでもお応えできるよう社員一同、より一層の業績向上に努める所存です。株主の皆様からいただいたご意見は、今後の経営方針やIR活動に反映させていきたいと考えております。

ご回答者の属性

ご回答者総数
184名

回収率
16%



株主様からのご意見

「情報宣伝活動にもっと力をいれてほしい。」

2007年12月に新しい広報誌『hacovy (ハコビー)』を創刊しました。名前の由来は、ユニットハウスの形をイメージさせる「箱(haco)」と、移動が可能という特長を表す「運ぶ」、さらにお客様や社会に幸せを「運ぶ」という思いをミックスした造語です。お客様はもとより、株主様、学生の皆さんなど、さまざまなステークホルダーの皆様にも協フロンティアのファンになっていただこうと制作したものです。

なお、広報誌『hacovy』をご希望の方はお名前、ご住所、ご連絡先を同封のアンケート用紙に明記の上お申し込みください。



広報誌『hacovy (ハコビー)』

株主様からのご意見

「株価を上昇させるためのPRやパブリシティ活動などを積極的に行って欲しい。」

株価の上昇に向けては、企業価値の向上をめざした各種の取り組みを行っていますが、その一つとして、「ユニットハウスによる、環境にやさしい、新しい公共空間の実証実験」に協力しました。

この取り組みは、千葉県柏の葉地域で「公民学連携」のまちづくりを協働する「柏の葉イノベーション・デザイン研究機構」が、2008年3月から実施したもので、箱物行政と批判される従来型公共事業に対し、増縮、移転、転用が可能なユニットハウスを使用することで、「小さな公共空間」を提案し、“公共Public、生活Life、空間Space (PLS) のあり方”を研究するものです。

当社はユニットハウスメーカーとしてこのプロジェクトに参加し、柏の葉キャンパス駅前にブックサービス、アトリエ展示施設、インフォメーション施設など、ユニットハウスでできた公共施設を提供し、大きな注目を集めました。今後も、社会のニーズに沿った価値ある製品の開発・提供を通じて、企業価値の向上をめざしていきます。



右側にあるのがブックサービスで、多くの方にご利用いただいています。
※本年次報告書の表紙に掲載した写真も「小さな公共空間」の写真です。

株主様からのご意見

「郵便局で配当金を受け取れるようにしてほしい。」

株主の皆様のご要望に応え、郵便局で配当金をお受け取りいただけるようになりました。当社からお送りする「配当金領収書」を、お近くの「ゆうちょ銀行」全国本支店および出張所ならびに郵便局の窓口にお持ちください。

インフォメーション

当社のユニットハウスが、雑誌『コマーシャル・フォト』5月号(2008年4月15日発売)の表紙および裏表紙を飾りました。この写真ではユニットハウスのシンプルな美しさが表現されています。

当社のホームページでさまざまな施工事例を掲載しています。いくつかの顔をもつユニットハウスをぜひ覗いてみてください。

URL <http://www.sankyofrontier.com/product/index.html>



『コマーシャル・フォト』5月号